



HRO

道総研水産研究本部



北海道は3つの海に囲まれ、
海域ごとに特色のある環境

★ 水産試験場：7
🚢 試験調査船：3

オホーツク海

宗谷暖流

東樺太海流

対馬暖流

日本海

親潮

太平洋



北洋丸

稚内水試

網走水試

釧路水試



北辰丸

さけます
内水面水試

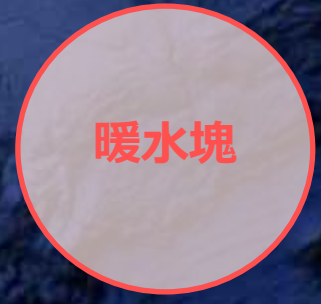
栽培水試

函館水試



金星丸

津軽暖流



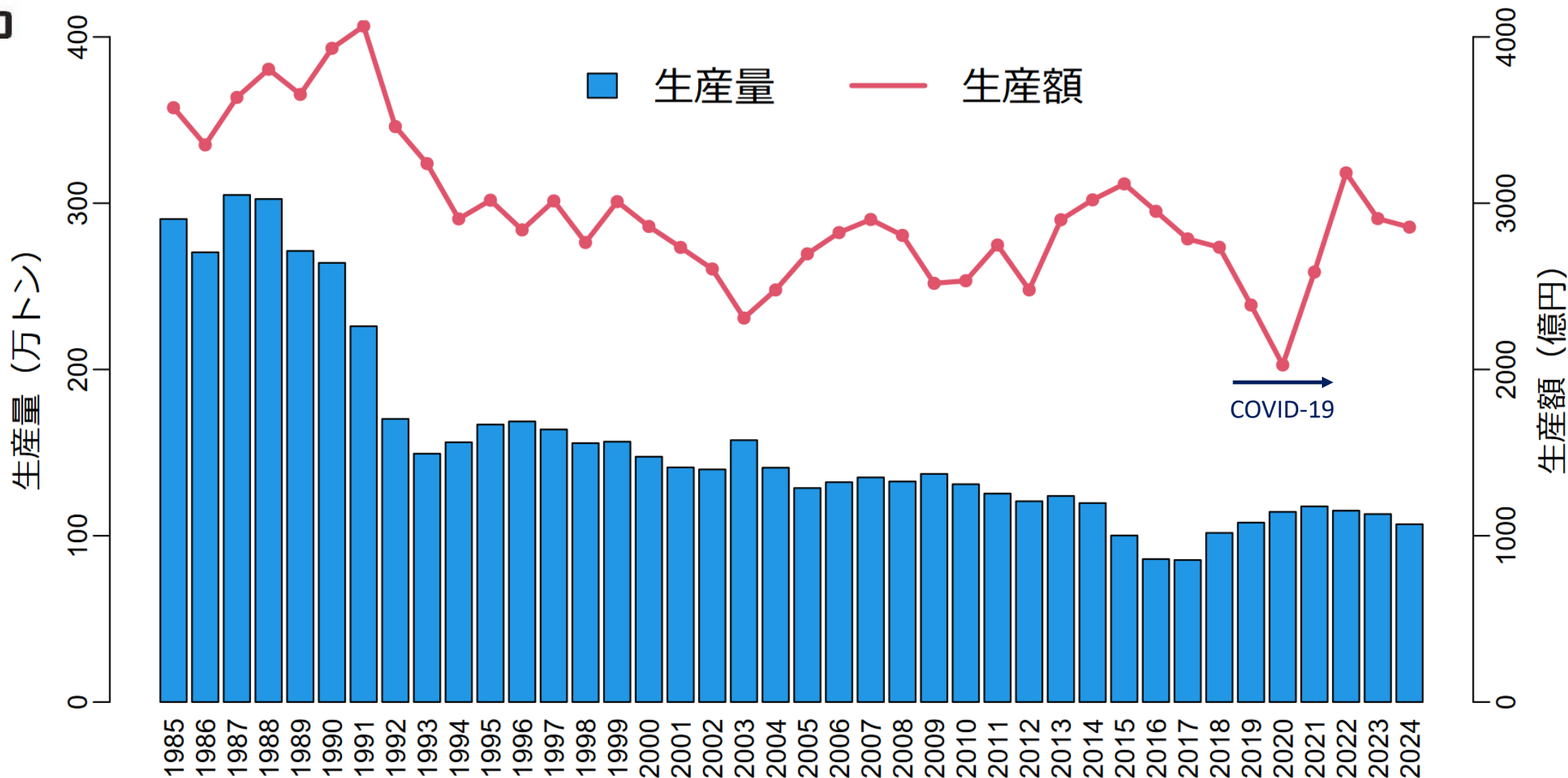
暖水塊



HRO

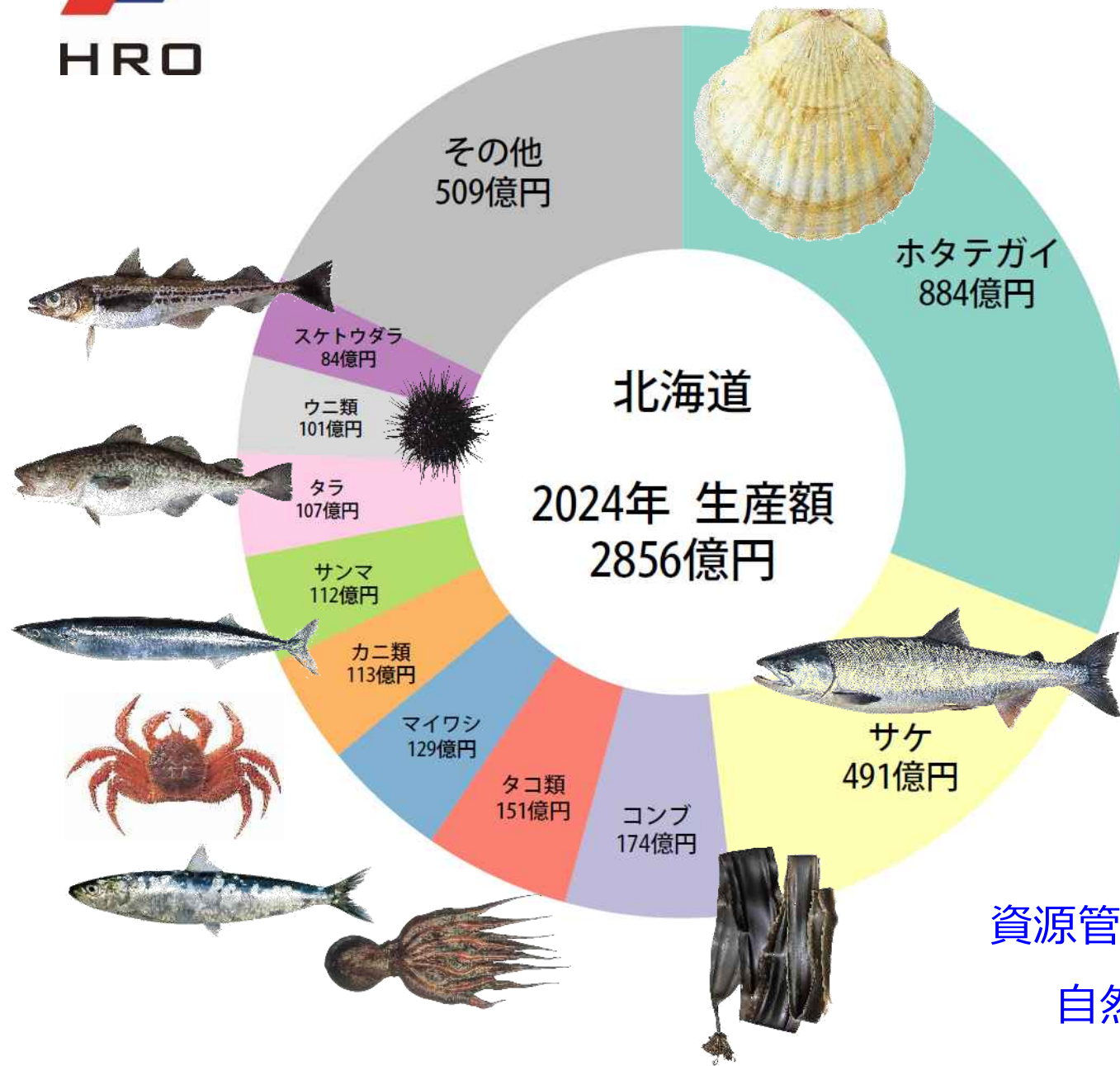
北海道の漁業生産

資料：北海道水産現勢



2024年 107万トン、我が国計の約3割

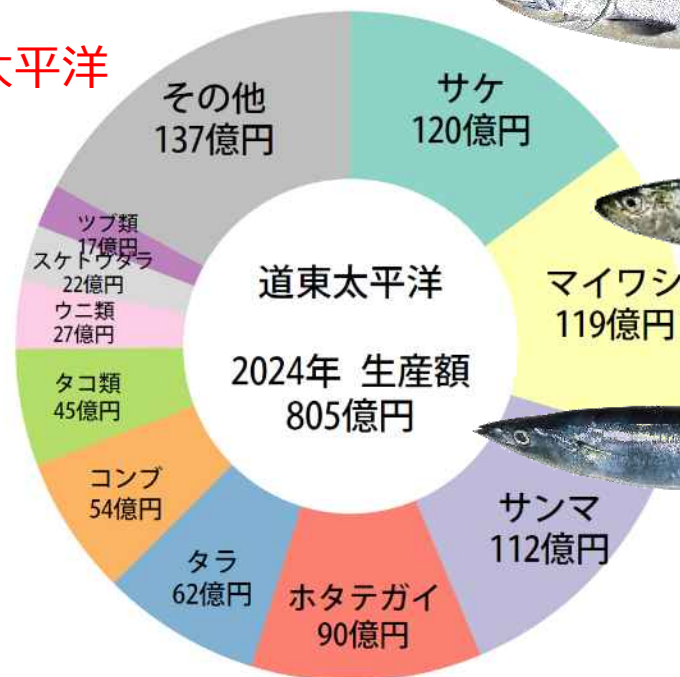
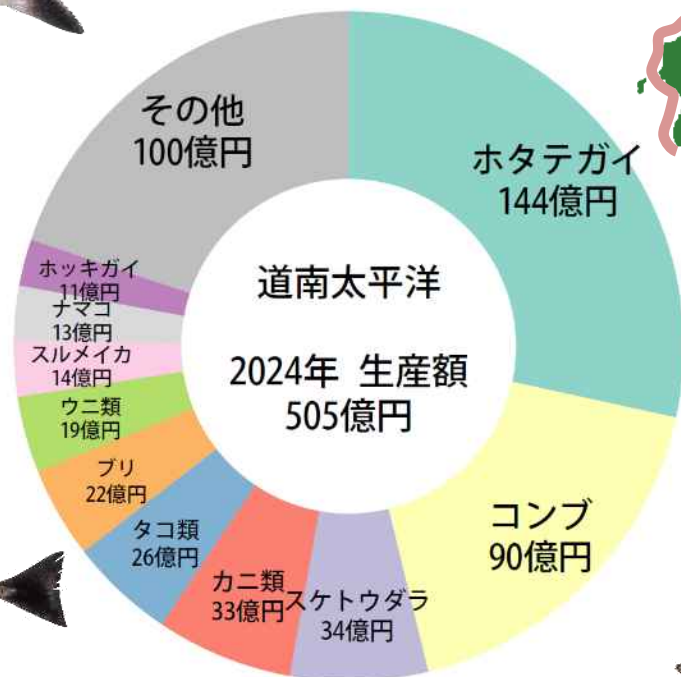
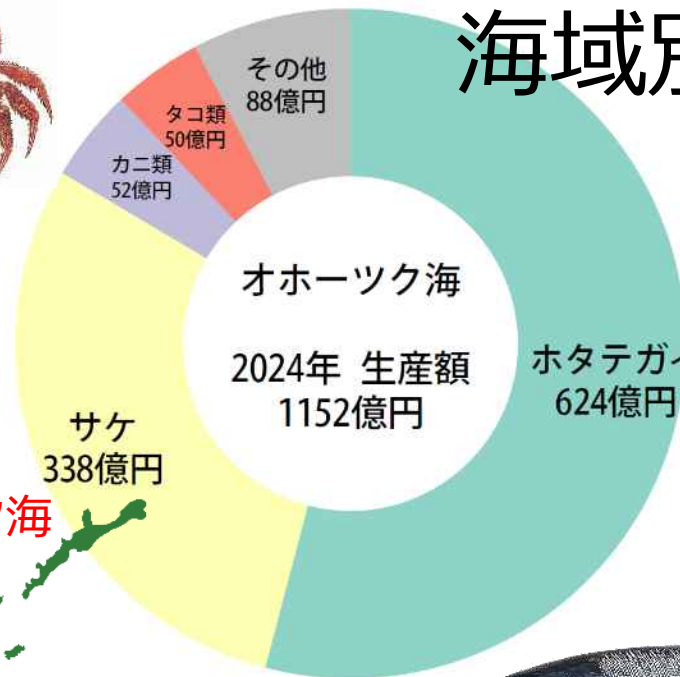
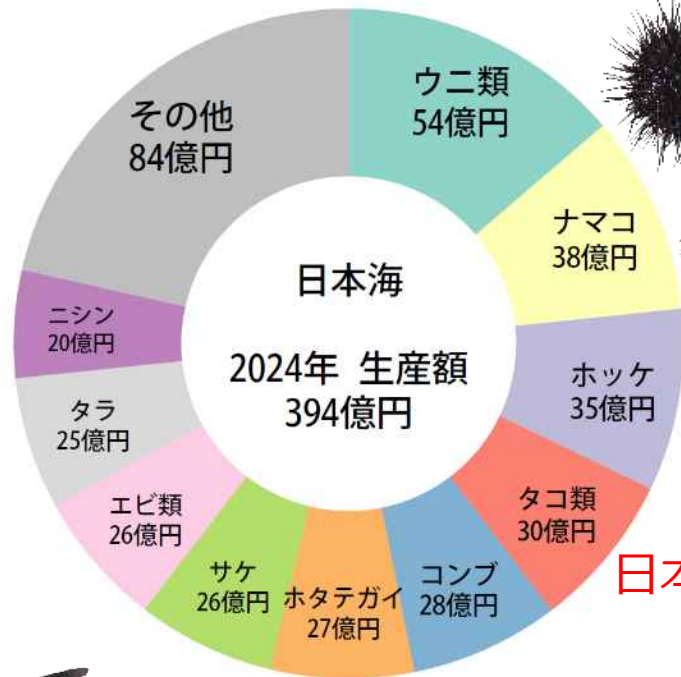
漁業就業者数 2013年 約3万人 → 2023年 約2万人 (10年で3分の2に減少)



- ホタテガイ
栽培漁業：地まき放流
養殖：かご養殖、耳づり養殖
- サケ
栽培漁業：稚魚放流
- コンブ
環境改善：漁場清掃、コンブ礁造成
養殖：海中ロープで育成
- タコ類、カニ類など
道、漁業者による管理
資源管理方針、資源管理協定
- マイワシ、サンマ、スケトウダラなど
国の漁獲可能量制度 TAC による管理

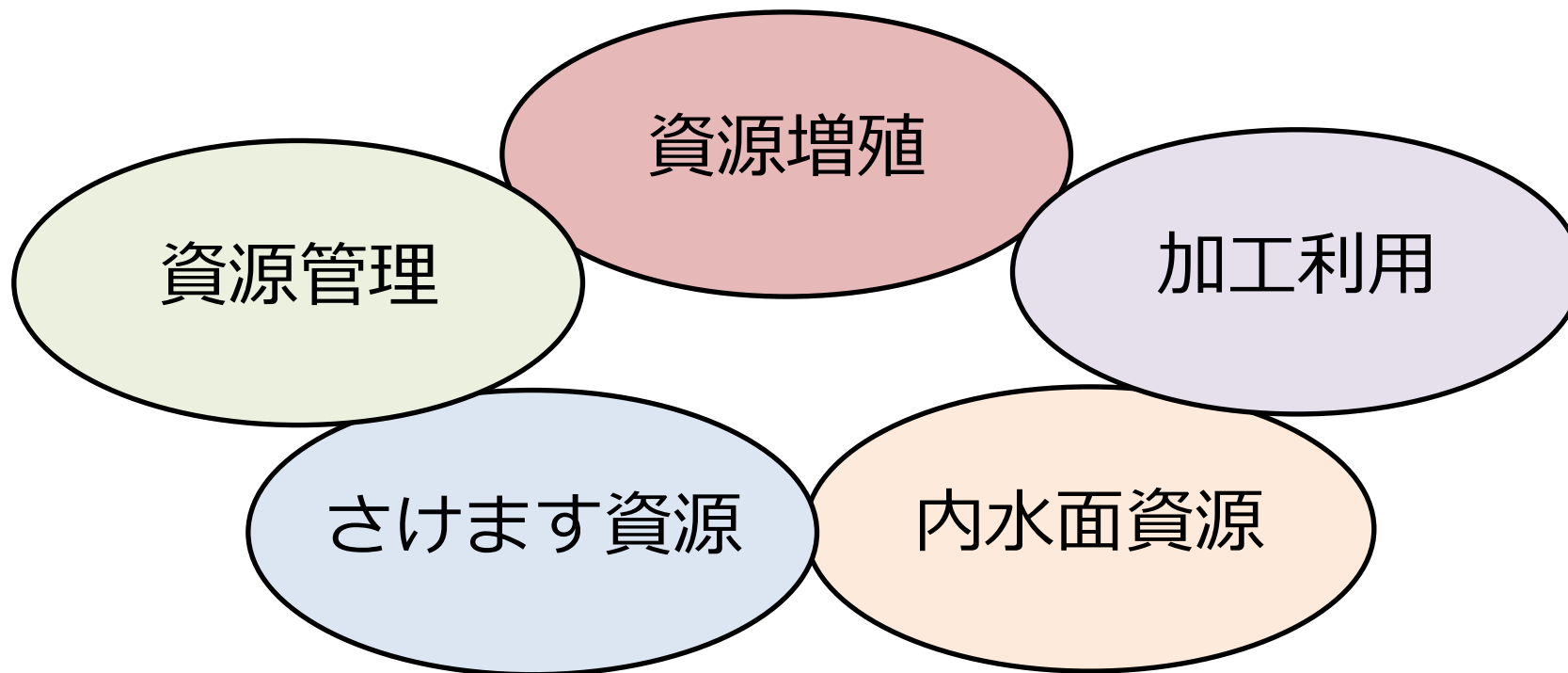
資源管理と増養殖が北海道の漁業生産を支えている
自然の力を利用した環境に優しい漁業が主体

海域別生産額



| 水試 | 所在地 | 構成 研究職員数 | 概要 |
|---------------|-------------|-------------------------------------|---|
| 中央水産試験場 | 余市町 | 資源管理部 14 資源増殖部 9 加工利用部 7 | 全道の資源管理、海洋環境、増養殖、水産工学、利用加工に関する研究を統括、磯焼け対策、海獣被害対策、水産物の高鮮度流通などに関する研究も実施 |
| 函館水産試験場 | 函館市 | 調査研究部 11 調査船 金星丸 | スルメイカ、スケトウダラの来遊予測、エビ類などの資源管理に関する研究、ホタテガイの養殖技術、コンブ類の増養殖技術に関する研究を実施 |
| 釧路水産試験場 | 釧路市 | 調査研究部 10 加工利用部 8 調査船 北辰丸 | サンマ、マイワシ、ケガニ、アサリ、コンブなどの資源と漁場に関する研究、道東産水産物の加工技術や低・未利用資源の利用技術に関する研究を実施 |
| 網走水産試験場 | 網走市 紋別市 | 調査研究部 8 加工利用部 5 | ホタテガイの増養殖、ケガニ、シジミ、ワカサギなどの資源管理に関する研究、水産物の利用加工に関する研究を実施 |
| 稚内水産試験場 | 稚内市 | 調査研究部 9 調査船 北洋丸 | 道北海域のコンブ・小型海藻の増養殖、スケトウダラ、ホッケなどの資源管理、トドなど海獣被害対策に関する研究を実施 |
| 栽培水産試験場 | 室蘭市 | 栽培技術部 9 調査研究部 8 | 全道の栽培漁業に関する試験研究、胆振・日高海域のシシャモ、ケガニ、ツブ類、タコ類、ミツイシコンブなどに関する研究を実施 |
| さけます・内水面水産試験場 | 恵庭市 中標津町 | さけます資源部 11 内水面資源部 13 道東センター 7 | 全道のサケマスおよび内水面漁業に関する資源管理と増養殖技術、魚病防疫に関する研究を実施 |

水産研究の基盤となる5つの研究部門



- 栽培漁業に関する調査研究
 種苗放流などにより資源を維持、増大
 主な種：ホタテガイ（地まき放流）、ウニ、アワビ、
 ナマコ、ニシン、ヒラメ、マツカワ、
 （サケ・マス → さけます資源部門）
- 漁場造成、漁場管理に関する調査研究
 生息環境の造成や管理により増殖を促進
 主な種：コンブ、ウニ、アサリ、ホッキガイ
- 養殖に関する調査研究
 管理した環境で種苗を出荷サイズまで育成
 主な種：ホタテガイ（垂下養殖）、コンブ、
 ウニ、カキ、サーモン



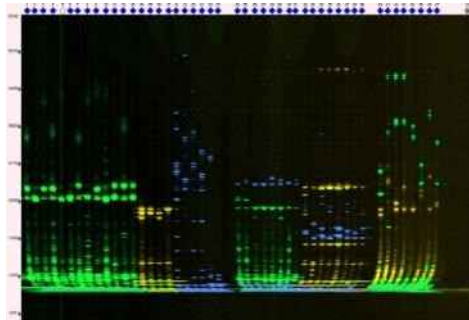
さけます資源

さけます資源の増殖と効率的管理の推進

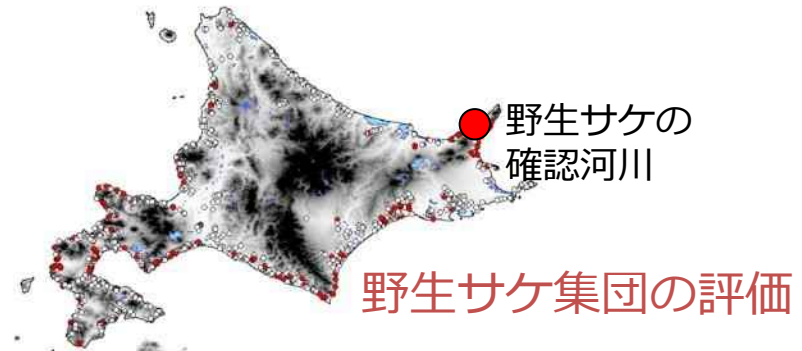
- 放流技術の改良と来遊予測技術の向上
- 種苗生産の効率化と健苗生産技術の向上
- 野生資源の評価技術の開発・遺伝的多様性の評価
- 河川環境の保全および修復技術の開発・改良



鱗による年齢査定



DNA解析による集団比較



幼稚魚の降河調査



サケ稚魚降海後の沿岸環境調査



野生魚の遡上調査

内水面資源

内水面漁業・養殖業の振興と水域環境・生態系の保全

- 内水面における資源管理と増殖技術の開発
- 内水面有用生物の育成技術と防疫対策技術の開発
- 水域生態系の評価と保全に関する技術開発



ワカサギ稚魚調査



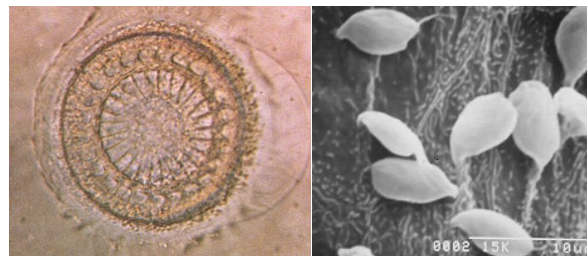
魚類の免疫パラメータの測定



電気ショッカーによる外来魚調査



カワヤツメ幼生調査



魚体に寄生する原虫類

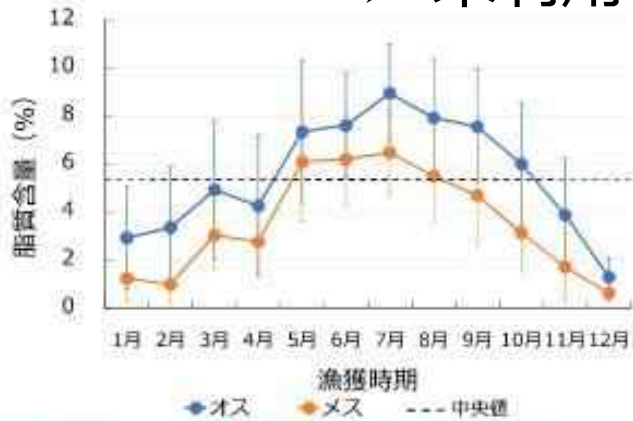


(ブラウントラウト, ブルーギル, オオクチバス)

加工利用

水産物の安全性確保と高度利用の推進

- 水産物の安全供給、鮮度・品質保持に関する技術開発
- 水産物の高付加価値化及び品質評価技術の開発
- 未利用・低利用資源の有効活用技術の開発

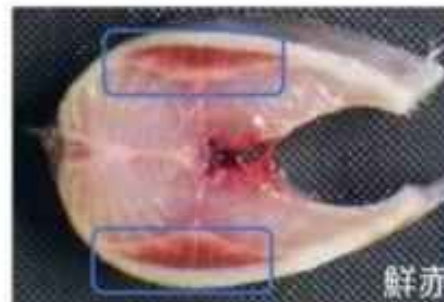


ホッケの脂乗り評価による高付加価値化

氷蔵24h後凍結-20℃保管



水揚げ直後凍結-20℃保管



道産マイワシ高鮮度保持技術開発



ウニ殻電子顕微鏡拡大写真



水産系廃棄物ウニ殻の有効活用試験(水槽用濾過材)



海外向けホタテ活貝輸送技術開発



研究職員採用試験募集要項（令和9年度採用）

- ◆試験区分： 水産
- ◆採用予定数： 10名程度
- ◆主な職務内容： 水産資源の管理・増養殖・利用加工、海洋環境に関する調査研究
- ◆勤務予定箇所： 水産試験場
- ◆求める人材（専門分野等）：

次の①から③のいずれかに関する専門知識を有する者

①資源管理分野：水産資源・生態学、海洋環境学、漁業学

②増養殖分野： 水産増養殖学、魚病防疫学、水産工学

③利用加工分野：水産利用学、水産食品学、水産化学